



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

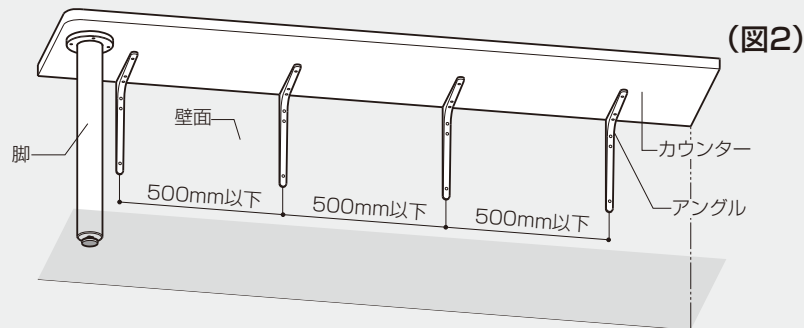
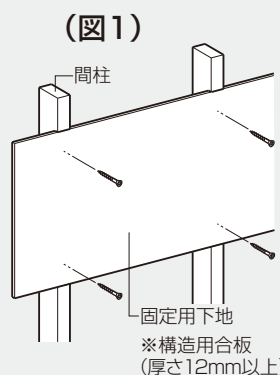
**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

●施工前に必ず検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買上げ店までご連絡ください。

### ▲注意

●カウンターが外れてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・登る・座るなどの目的で使用しないでください。
- ・石こうボードなどの下地材に直接アングルを取付けることはできません。固定位置には、必ず構造用合板(厚さ12mm以上)を固定用下地として取付けてください。(図1)
- ・アングルを使用する場合は必ず脚を併用し、ピッチ500mm以下で取付けてください。(図2)
- ・アングル固定ねじは、最後まで締め込んでください。
- ・タイルやエコカラットなど厚みがあって割れやすい壁仕上げ材には施工できません。取付け強度不足による落下、破損のおそれがあります。



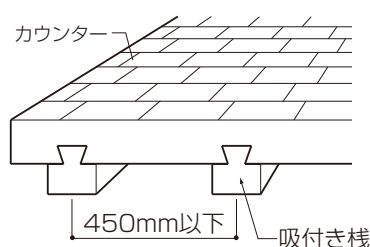
### ■取付け上へのお願い

●当製品は屋内用です。屋外には取付けないでください。

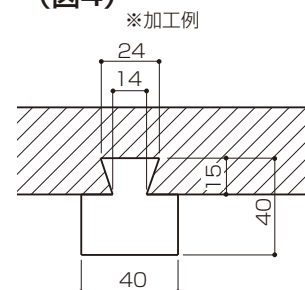
●施工前の保管の際は、ソリ・膨れ・割れ防止のため、下記事項をお守りください。

- ・直射日光に当てないでください。
- ・湿度の高い場所には保管しないでください。
- ・雨や水にぬれる場所には保管しないでください。
- ・直接地面に置かないでください。
- ・立て掛けて置かないでください。
- 施工の際は、ソリ・膨れ・割れ防止のため、下記事項をお守りください。
- ・出窓のカウンター(テーブル板)として使わないでください。
- ・切断した場合、切断面は必ず塗装してください。
- ・コンクリート・モルタルなどの湿気のたまりやすい土台に直接取付けしないでください。
- ・カウンターの奥行きが600mm以上の場合は、吸付き棧(ピッチ450mm以下・アリ溝構造)を取付けてください。(図3・4)
- ・根太・捨て張り板には乾燥材をお使いください。
- ・高気密・高断熱住宅などの場合は、お施主さまへの引渡しまでの間、過乾燥にならないよう定期的に換気してください。
- 脚の長さはアジャスターで+15mm-3mmまで調整できます。この範囲を超えて使用しないでください。

(図3)



(図4)



### ■取付け順序

#### 1 カウンターの切断(切断が必要な場合)

※基材のささくれ防止のため、下記手順で切断してください。

- ①鉛筆などで墨付けをします。
- ②カッターナイフなどで野引きをします。
- ③のこぎりで切断します。
- ④切断面をかななどで平滑にします。
- ⑤切断面を塗装します。

※塗装は3回以上行ってください。

#### 2 脚の切断(切断が必要な場合)

※脚の長さは、そのまま取付けると、カウンター高さが700mm(カウンター厚さ30mm+脚の高さ670mm)になるように設定されています。アジャスターで+15mm-3mmまでは調整可能です。700mm未満にしたい場合は、下記手順で切断してください。

※アジャスター部は出荷の状況によっては18mmになっていない場合がありますので、必ず現場で確認の上、調節をしてください。

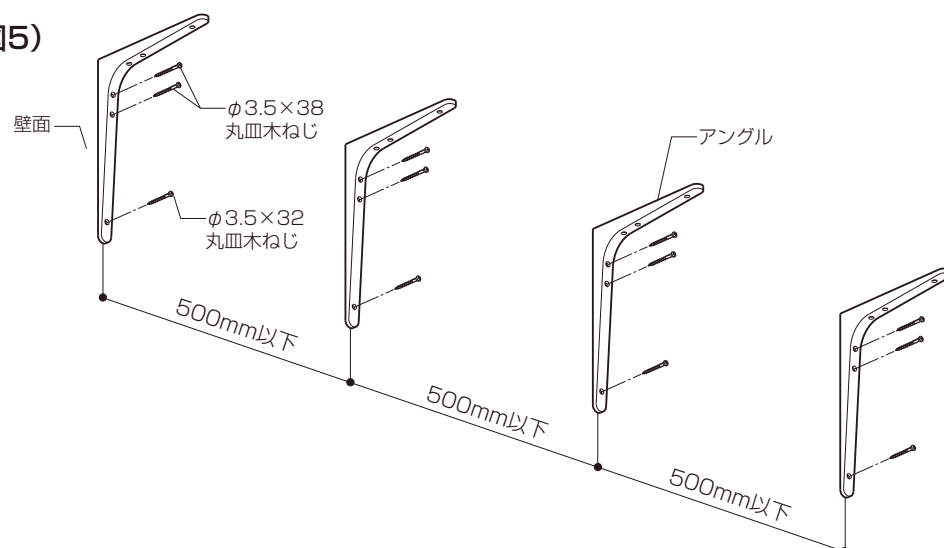
- ①所定の長さになるよう墨付けをします。
- ②カッターナイフなどで野引きをします。
- ③のこぎりで切断します。
- ④切断面をかななどで平滑にします。

#### 3 カウンターの取付け

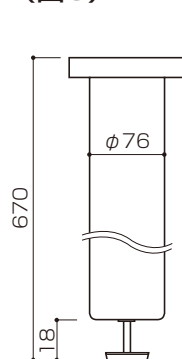
- ①固定用下地の位置を確認します。(図1)
- ②カウンター取付け位置の水平・垂直を出します。
- ③壁面にピッチ500mm以下でアングルを固定します。(図5)
- ④脚に下穴(φ3)をあけ、接着剤を併用して取付け台を木ねじで取付けます。(図7)
- ⑤アングルの上にカウンターをのせ、脚を仮組みし、取付け位置を出します。
- ⑥カウンターをいったん取外し、下穴(φ3)をあけます。
- ⑦同梱の木ねじでカウンターとアングル・脚を固定します。(図8)
- ⑧脚のアジャスターで水平出し・不陸調整をします。

※その他の施工方法を用いる場合は、施工される方の判断で強度を確保してください。

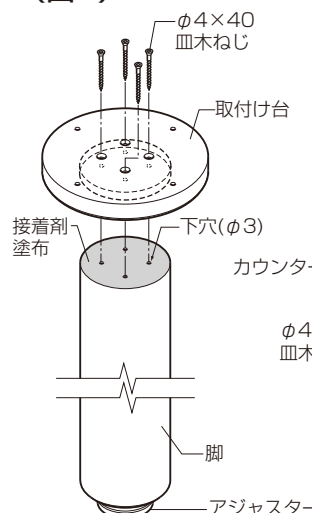
(図5)



(図6)



(図7)



(図8)

